



「戦場になる」前提 許されません！



沖縄は80年前、「本土決戦」引き延ばしの「捨て石」にされました。米軍との戦争に総動員され、県民の4人に1人の命が奪われました。その後、日本政府は再び沖縄を切り捨て、米軍占領下で人権が蹂躪（じゅうりん）され続けました。沖縄県民は自らのたたかいで1972年5月15日に占領を打破しましたが、その後も日米安保条約で広大な米軍基地がおかれ、さらに自衛隊基地も大増強され、現在も戦争の危険にさらされています。

沖縄を戦場に見立てた 大演習が

▼欠陥機オスプレイも多数参加▼

先月、沖縄を戦場に見立てた米海兵隊と陸上自衛隊の合同演習「レゾリュート・ドラゴン」が沖縄・九州と全国で行われ、墜落を繰り返す欠陥輸送機オスプレイも多数参加しました。また、今月20日からは5万人規模の自衛隊統合演習が行われます。米軍が中国と戦火を交えることを想定し、これに自衛隊が参加する想定です。こうした危険な演習や沖縄の軍事要塞化に反対しましょう。

工事進行度16%で 7割の予算を支出

▼無謀な辺野古新基地建設は中止を▼

沖縄県民の反対の声を無視して、沖縄県名護市辺野古・大浦湾の美しい海を埋め立て、米軍新基地建設を強行する動きも許せません。そこには軟弱地盤が広がり、完成の見通し也没有。環境を破壊するだけのこの埋め立て工事の進捗状況は16%ですが、かかった費用はすでに政府見積もり費用9300億円の7割。この無駄で無謀な工事に、私たちの税金が何兆円も注がれる計画です。



辺野古新基地建設工事の中止と 普天間基地撤去を求める署名にあなたも！



新米軍基地の押し付けやめよ！
沖縄と日本を再び戦場にする **軍事基地強化反対の声** を
沖縄の人々と共にあげましょう！

日本平和委員会

2025年10月発行

一人ひとりの平和の願いをもとに行動する平和NGOです
「平和新聞」(旬間)、「平和運動」(月間)発行中

<http://j-peace.org/> (X) (F)

